

# 毎日新聞

10月15日(土)

2022年(令和4年)

発行所：大阪府北区東船場3丁目4番5号  
〒531-8251 電話：(06)6545-1111  
毎日新聞 大阪本社

STOP!

## 復興住宅 238カ所浸

### 最大級の津波

2011年の東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手、宮城、福島県の約4割が、今後起こりうる最大級の津波で浸水される恐れがあることが判明した。国土交通省の「津波浸水想定」のデータを毎日新聞が分析し、避難所の約7割も浸水する恐れがある。浸水に強いと見られていた、

### 3選は「3選」

分析は、位置する複数のデータに基づいて行われる。詳細情報は、

## 7月参院選「違憲状態」

### 大阪高裁判決 区割り見直し迫る

「選挙の格差」が最大。判例を「違憲状態」と判断。7月の参院選は、格差の解消を求め、選挙区を再編する必要がある。大阪高裁は14日、選挙区の区割りを違憲と判断し、再編を促す方針。

# 京工芸品にウクライナ柄



ウクライナのデザイナーが考案した工芸品を前にする福定良佑さん  
—京都市左京区で

## 地元デザイナーとコラボで支援

京都の工芸品でウクライナへの支援を。ロシアからの侵襲を受けるウクライナのデザイナーが考案した雑貨や食器を、京都のデザイナーらが商品化した。漆や京焼の技術を生かした花瓶や豆皿、とっくりなど10種類あり、クラウドファンディングで販売した売り上げの一部を現地に届ける。  
【宮川佐知子】

### 京都・福定さんがCF 収益の一部 現地に

企画したのは京都市在住のデザイナー、福定良佑さん(42)。ロシアの侵襲が始まって間もない3月ごろ、以前から仕事で交流のあったウクライナの東部ドニプロにあるデザイン事務所「スボヤスタジオ」から「デザインの仕事はないか」と打診があった。事務所では侵襲前、16人がインターネット上のデザインなどを手がけていたが、最近はその影響で仕事の発注が減っているという。国外のデザイナー、福定良佑さんに依頼したデザイナーもいる。「仕事を続けて国を守りたい」というデザイナーたちを応援したいと感じた福定さんは、地元の企業に協力を依頼。呼びかけに応じた6社が花瓶や陶器、がま口などのデザインを依頼し、メールやオンライン会議システムを通じてやりとりを重ねてきた。

「漆まめさ」は黄色の豆皿に、ウクライナで伝統的に用いられる世界樹と鳥の柄をあしらった。「モタンカ」はウクライナに伝わるお守り「モタンカ」からヒントを得た商品。人形は茶を十字に結ばれた顔が特徴で、こげしの顔にも目や口の代わりに十字のデザインを施した。福定さんは、それぞれ異なるエピソードがあり、他にはないコラボ商品が誕生した。ぜひ手に取ってみたい」と話している。

クラウドファンディング (<https://readfor.jp/products/DK0>) は10日まで。それ以降は商品によって各々が個別で販売される。